

## 8 日ロサケ・マス漁業交渉

北太平洋におけるサケ・マス漁業は、昭和31年(1956年)の日ソ漁業条約に基づき、毎年、「日ロ漁業委員会」で決定された漁獲割当量に基づいて操業されていたところであり、

しかし、サケの母川国主義や海産哺乳動物の混獲などから、平成4年(1992年)2月にモスクワで開催されたサケ・マス資源の管理に関する4カ国会議(日本・米国・カナダ・ロシア)におきまして、「北太平洋における遡河性魚類の系群の保全のための条約」が調印され、これに基づき1992年からは公海におけるサケ・マス漁が禁止となり、小型船により日本200海里内の限られた海域で操業しています。

また、根室市では、ロシア200海里内で操業する日ロサケ・マス合弁事業の水揚げが昭和63年から始まっています。

### (1) 平成20年(2008年)の合意内容

#### 日本200海里内の漁獲可能量等

##### ア. 水域別漁獲可能量

(単位:トン)

年次	太平洋側	日本海側	合計
平成19年	2,975	200	3,175
平成20年	2,855	150	3,005

##### イ. 魚種別漁獲可能量

(単位:トン)

区分	カラフトマス	シロザケ	ベニザケ	ギンザケ	マスノスケ	合計
平成19年	2,862	313	-	-	-	3,175
平成20年	2,705	300	-	-	-	3,005

##### ウ. 漁業協力費

ロシア側に支払う漁業協力費は、上限を4億3,600万円、下限を3億7,100万円とし、漁獲実績に応じて金額を確定する旨合意する。

##### エ. 出漁隻数

(単位:隻)

区分	根室漁協	歯舞漁協	落石漁協	湾中漁協	合計	北海道
平成19年	9	16	8	-	33	87
平成20年	7	16	9	-	32	81

#### 日ロサケ・マス漁業交渉における漁獲割当量及び漁業協力費の推移

								(単位:トン, 億円)			
年次	回次	割当量	協力費	年次	回次	割当量	協力費	年次	回次	割当量	協力費
昭和32年	1	120,000	-	昭和50年	19	87,000	-	平成5年	37	4,819	7.5
昭和33年	2	110,000	-	昭和51年	20	80,000	-	平成6年	38	4,819	7.5
昭和34年	3	85,000	-	昭和52年	21	62,000	-	平成7年	39	5,123	7.5
昭和35年	4	67,500	-	昭和53年	22	42,500	17.6	平成8年	40	5,123	7.5-6.9
昭和36年	5	65,000	-	昭和54年	23	42,500	32.5	平成9年	41	5,123	7.5-6.7
昭和37年	6	115,000	-	昭和55年	24	42,500	37.5	平成10年	42	5,123	7.5-6.7
昭和38年	7	120,000	-	昭和56年	25	42,500	40.0	平成11年	43	5,370	7.75-7.03
昭和39年	8	110,000	-	昭和57年	26	42,500	40.0	平成12年	44	5,920	8.59-7.03
昭和40年	9	115,000	-	昭和58年	27	42,500	42.5	平成13年	45	5,170	7.70-6.70
昭和41年	10	96,000	-	昭和59年	28	40,000	42.5	平成14年	46	4,100	6.10-5.25
昭和42年	11	108,000	-	昭和60年	29	37,600	42.5	平成15年	47	4,100	6.15-5.45
昭和43年	12	93,000	-	昭和61年	30	24,500	35.0	平成16年	48	3,660	5.48-4.88
昭和44年	13	103,000	-	昭和62年	31	24,500	37.0	平成17年	49	3,560	5.33-4.74
昭和45年	14	90,000	-	昭和63年	32	17,668	33.5	平成18年	50	3,340	5.00-4.45
昭和46年	15	95,000	-	平成元年	33	15,000	33.5	平成19年	51	3,175	4.76-4.04
昭和47年	16	87,000	-	平成2年	34	11,000	31.5	平成20年	52	3,005	4.36-3.71
昭和48年	17	91,000	-	平成3年	35	9,000	28.4				
昭和49年	18	83,000	-	平成4年	36	2,819	4.4				

(注)平成3年以前の数値は、公海分を含む。

[資料:根室市水産経済部調]

## ロシア 200 海里内の漁獲可能量等

### ア. 漁獲割当量

(単位:トン)

年次	中型船				小型船	合計
	計	全鮭連	北友水産	ホクヨー	道鮭連	
平成 19 年	5,775	1,675	2,750	1,350	4,500	10,275
平成 20 年	5,775	1,675	2,750	1,350	3,960	9,735

### イ. 水域・魚種別漁獲可能量 (2008 年)

(単位:トン)

水域	魚種	合計	シロザケ	ベニザケ	その他
1 区	中 型	4,383.6	2,289.0	2,000.0	94.6
	小 型	-	-	-	-
	計	4,383.6	2,289.0	2,000.0	94.6
2 区	中 型	647.1	558.9	29.4	58.8
	小 型	1,972.4	1,791.2	119.6	61.6
	計	2,619.5	2,350.1	149.0	120.4
2a 区	中 型	-	-	-	-
	小 型	440.0	400.0	1.0	39.0
	計	440.0	400.0	1.0	39.0
3a 区	中 型	744.3	420.0	255.0	69.3
	小 型	1,547.6	880.0	595.0	72.6
	計	2,291.9	1,300	850.0	141.9
合計	中 型	5,775.0	3,267.9	2,284.4	222.7
	小 型	3,960.0	3,071.2	715.6	173.2
	計	9,735.0	6,339.1	3,000.0	395.9

その他 …… カラフトマス、ギンザケ、マスノスケ

### ウ. 有償入漁料(中型・小型船)

キロ単価 307 円/kg (前年比 14 円 49 銭増)

### エ. 出漁隻数

43 隻 ( 中型船 21 隻(うち根室船籍 14 隻)  
小型船 22 隻(うち根室船籍 17 隻) )

## (2) 日ロサケ・マス漁業交渉操業区域図

